

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)折尾計画 新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
			評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質							3.4	
Q1 室内環境				0.40	-		3.9	
1 音環境			2.9	0.15	3.0	1.00	2.9	
1.1 騒音			3.0	0.49	3.0	0.50		
1.2 遮音			3.0	0.49	3.0	0.50		
1			開口部遮音性能	3.0	0.97	3.0		0.30
2			界壁遮音性能	3.0	0.03	3.0		0.30
3			界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	3.0		0.20
4			界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0		0.20
1.3 吸音			1.0	0.02	3.0	-		
2 温熱環境			3.0	0.35	5.0	1.00	4.6	
2.1 室温制御		断熱等性能等級4確保	3.0	1.00	5.0	1.00		
1			室温	-	-	-		
2			外皮性能	3.0	1.00	5.0		1.00
3			ゾーン別制御性	-	-	-		-
2.2 湿度制御			-	-	-	-		
2.3 空調方式			-	-	-	-		
3 光・視環境			2.6	0.25	4.3	1.00	3.9	
3.1 昼光利用		2.0%以上 東、南面に窓を設けている(A-15,16,17)	3.0	0.36	4.6	0.50		
1			昼光率	-	-	5.0		0.50
2			方位別開口	-	-	5.0		0.30
3		昼光利用設備	3.0	1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		カーテン、庇により昼光制御	2.0	0.34	4.0	0.50		
1		昼光制御	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度			-	-	-	-		
3.4 照明制御			3.0	0.30	-	-		
4 空気質環境			3.0	0.25	3.6	1.00	3.5	
4.1 発生源対策		F☆☆☆☆の建材を内部仕上げるのほぼ全面的に採用(A-05)	3.0	0.59	4.0	0.63		
1			化学汚染物質	3.0	1.00	4.0		1.00
2			アスベスト対策	-	-	-		-
4.2 換気			3.0	0.39	3.0	0.38		
1		換気量	3.0	0.49	3.0	0.33		
2		自然換気性能	3.0	0.02	3.0	0.33		
3		取り入れ外気への配慮	3.0	0.49	3.0	0.33		
4.3 運用管理			3.0	0.02	-	-		
1		CO ₂ の監視	-	-	-	-		
2		喫煙の制御	3.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.0	
1 機能性			3.0	0.40	3.2	1.00	3.1	
1.1 機能性・使いやすさ		住戸の天井高2.5m以上確保	3.0	0.40	3.0	0.60		
1			広さ・収納性	-	-	-		-
2			高度情報通信設備対応	-	-	3.0		1.00
3			バリアフリー計画	3.0	1.00	-		-
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	3.5	0.40		
1			広さ感・景観	3.0	0.03	4.0		0.50
2			リフレッシュスペース	-	-	-		-
3			内装計画	3.0	0.97	3.0		0.50
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-		
1			維持管理に配慮した設計	3.0	0.50	-		-
2		維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-		
3		衛生管理業務	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-		
1			耐震性	3.0	0.80	-		-
2			免震・制振性能	3.0	0.20	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.30	-	-		
1			躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-		-
2			外壁仕上材の補修必要間隔	3.0	0.20	-		-
3			主要内装仕上材の更新必要間隔	3.0	0.10	-		-
4			空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10	-		-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-		
6		主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-		

	2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり		階高2.96m以上とする(A-23)	3.8	0.03	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり		5.0	0.60	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		2.0	0.40	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.03	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.94	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			歴史性の継承、また周辺のまちなみや風景に調和させている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		ピロティ、底を設けアメニティ向上に貢献	4.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			断熱等性能等級4確保	4.9	0.20	-	-	4.9
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 — 住宅(専有部) 0.93	4.2	0.50	-	-	4.2
	集合住宅以外の評価(3a.3b)			-	-	-	-	
	集合住宅の評価(3c)		高効率給湯器(エコジョーズ)の採用	4.7	1.00	-	-	
	4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	
	集合住宅以外の評価			3.0	0.10	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	0.90	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.7	0.60	-	-	3.7
	2.1 材料使用量の削減		杭に高炉セメントB種使用(S-07) 集成材、パーティクルボード、フローリング(A-05,06)	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		壁紙の接着剤に有害物質を含まないものを採用(A-05)	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			高効率給湯器(エコジョーズ)の採用	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1 大気汚染防止		適切な量の駐車スペースの確保(A-13,14,15)	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3	交通負荷抑制		4.0	0.33	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	